



佛事の常識・非常識



Q:大乘仏教と小乗仏教の違いは？A:三蔵法師が持ち帰ったのか大乘仏教です。

西遊記は、三蔵法師が、孫悟空・猪八戒・沙悟浄らのお伴を従えて中国からインドへ経典を求めて旅する物語です。こうしてシルクロードを通して中国・朝鮮・日本に入ってきたのが大乘仏教です。一方ミャンマーやタイなどのインドシナ半島に伝わった仏教があり、これが小乗仏教と呼ばれています。こちらは「ビルマの豎琴」などで有名ですね。小乗とか大乘の「乗」とは救済という意味で、大乘＝大きな救済。つまり全衆生の救済を説き、小乗＝小さな救済。自分一人の救いを説く教えという意味です。ただし、この表現は大乘仏教を学ぶ学者たちが、インドシナに伝わった仏教を見たときに、「あいつらは小乗だ。おれたちは大乘だ」と言って貼ったレッテルであるということです。実は少し軽蔑が含まれた表現なのです。そこで大乘も小乗もない、どんな人も一つの救済によって救われる「一乗」の教えが、親鸞聖人によって浄土真宗として明らかにされるのです。お間違いなく。

寺ともさんこぼれ話 年明けにはたくさんの年賀状を頂きました。「いけなくて、ごめんなさい。寺ともさん

大好き。ファンです」と年賀状に添え書きしてくれたのは小学校4年生のお嬢さんです。そう言いつつ、今回久しぶりにお母さんと一緒に「ひな飾り折り紙教室」に来て下さって、どうもありがとうございます。「徳成寺さんのニュース（寺ともかわら版）も立派なものです」と褒めて下さったのは月刊「ユ-テ」主催の喜田さんです。月刊「ユ-テ」はもう何十年も毎月続いているボランティア有志の文集冊子です。また近所の岩崎さんというおじいちゃんが持って来て下さったのは、「地域社会のためのお寺の活用アイデア募集」という日蓮宗の寺院活性化コンペの募集要項でした。宗旨が違うのに、寺ともさんの活動を知って勧めて下さいました。最後は「懐かしく読ませていただきました。新春餅つき大会は子供たちの良い思い出になりますね。初詣は行かないままです。（略）『寝ても覚めても称名念仏すべきものなり』と母が言っていたのを思い出します」と、「お参りコラム」への返信が届きました。

名前：ツキちゃん

性別：♀

お年：10歳以上不明

種類：三毛猫

好物：カツオ節

苦手：若い猫(ジュリアン)

住所：杉野さん宅(高松市)

性格：野性味あふれる

ご自慢のペットちゃん



ペットちゃんを募集しています

エピソード：ある満月の夜に石清尾八幡さんの鳥井の下に座っていた子猫がいました。それがツキちゃんです。大変賢いネコちゃん、杉野さんが「住職さんが来るよ」と声をかけると、ちゃんと分かるそうです。そしてお経も一緒になって「ニャ〜」と鳴いて読みますし。この日の取材でも、写真撮影されることが分かったようで、しっかりポーズを決めてくれました。お家の中の自分のテリトリーで、飼われてあげているといった感じだそうです。カワイイにゃ〜

NHK 高松放送ゆう6かがわ「とれとれマイビデオ」



1/13 夕方6時47分放送

NHK 高松放送・ゆう6かがわニュース「とれとれマイビデオ」に昨年12月の寺とも「大正琴チャリティーコンサート」が取り上げられました。編集の宮川さんから「今回も徳成寺での話題を送っていただきまして、本当にありがとうございます」というコメントが寄せられました。

おまけ

おみな様が座っているお盆は、先生がご厚意で、わざわざお店から取り寄せて人数分を準備し下しました。お陰でとても立派に見えますね。ありがとうございます。

@:かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡を。